

■ 卒業生就職アンケート傾向分析【2017～2019年度】

1 回答率

(1) 2019年度

5.7%

(2) 過年度

2018年度：7.0% 2017年度：4.5%

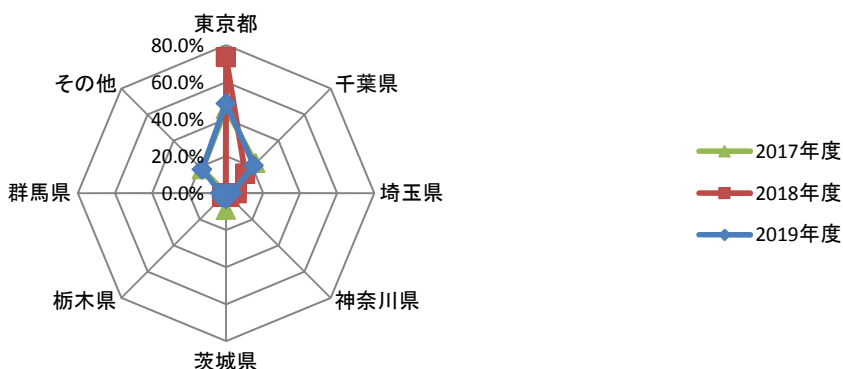
2 就業状況

※ 以下、各項目の割合については、四捨五入で計算し表記していることから、合計値が100%にならない場合がある。

(1) 事業所等の所在地

2019年度回答者の7割弱が東京都又は千葉県で就業中である。(図1-1)

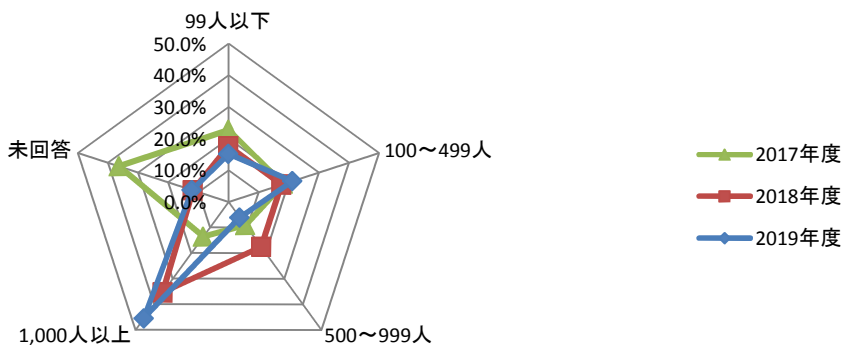
図1-1 事業所等の所在地



(2) 従業員規模

過年度は回答者の半数が「1,000人以下」の小規模企業で就業していたが、2019年度は「1,000人以上」の企業で就業している回答者が増えた。(図1-2)

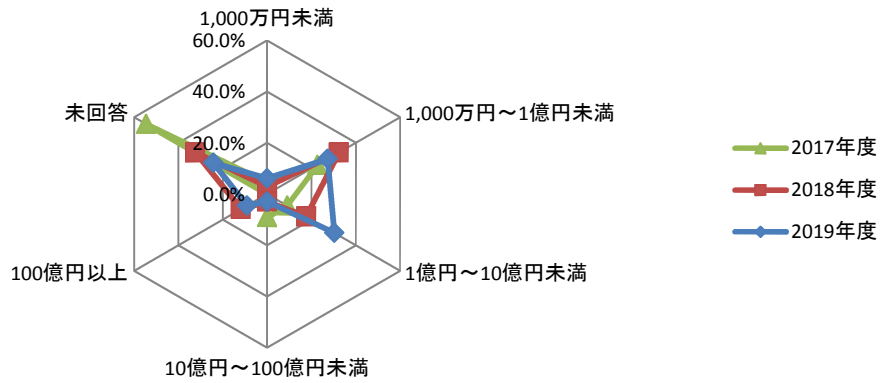
図1-2 従業員規模



(3) 資本金

2019年度は「1億円～10億円未満」が最も多く、過年度よりも資本金規模が大きい企業で就業している回答者が増えた。(図1-3)

図1-3 資本金



(4) 業種

様々な業種にまんべんなく就業しているが、2019年度は「不動産業、物品賃貸業」に従事する回答者が多かった。(図1-4)

図1-4 業種(2019年度)

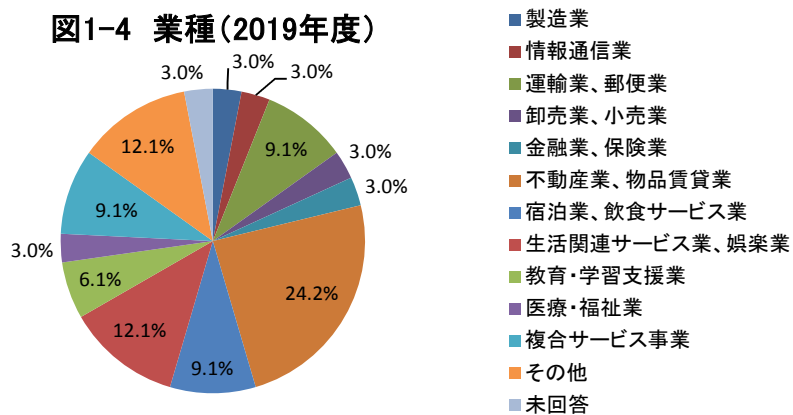


図1-4 業種(2018年度)

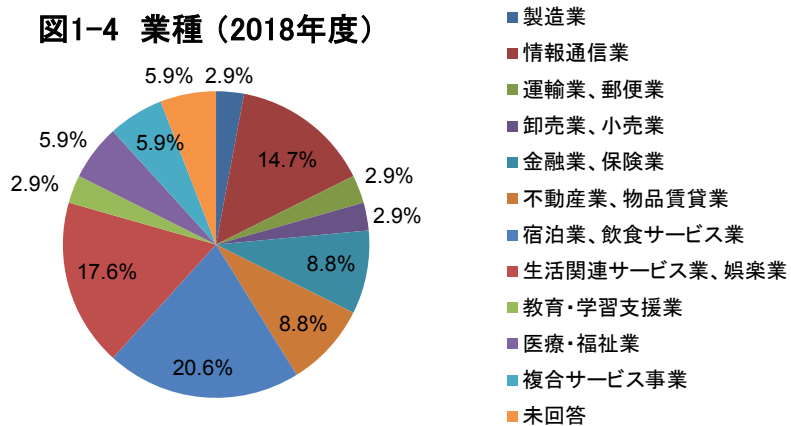
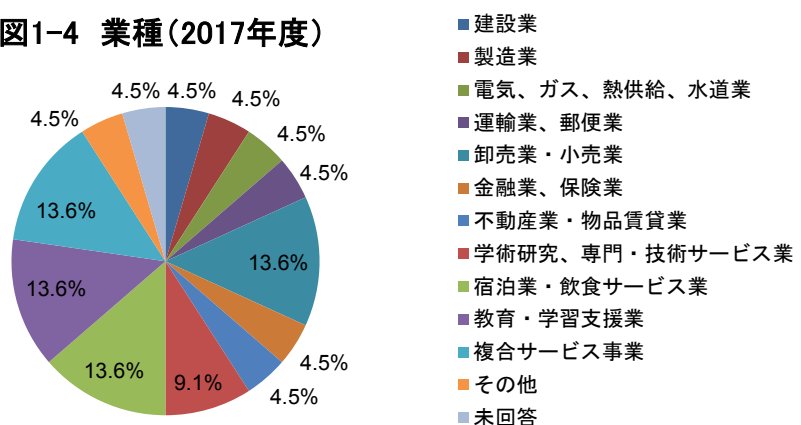


図1-4 業種(2017年度)

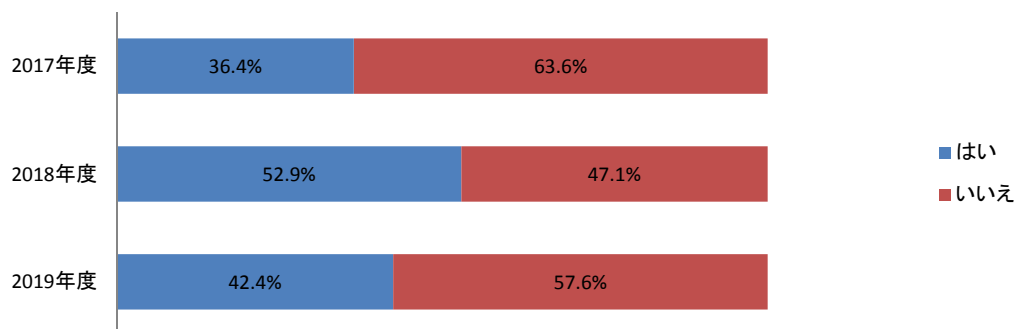


3 転職経験

(1) 転職経験の有無

2019年度は、回答者の4割強が転職を経験している。(図2-1)

図2-1 転職経験の有無

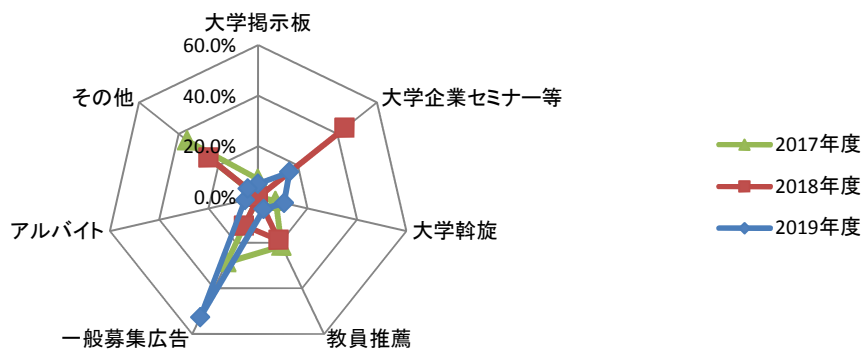


(2) 転職経験「なし」回答者への設問

ア 現在の就職先を選んだきっかけ

2018年度は大学企業セミナーで就職先を選択した回答者が最も多かったが、2019年度は就職情報サイト等外部の媒体を活用して就職先を選択した回答者が最も多かった。(図2-2)

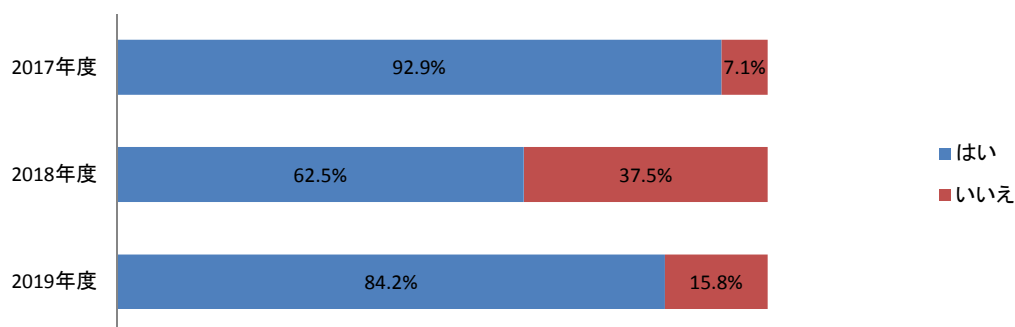
図2-2 企業選択のきっかけ



イ 大学で学んだ教養教育の活用

2018年度は6割強が「はい」と回答していたが、2019年度は8割以上に増加した。(図2-3)

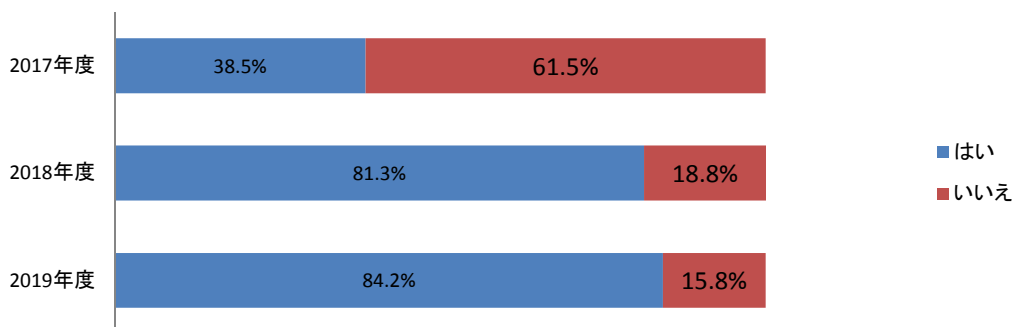
図2-3 教養教育の活用



ウ 大学で学んだ専門教育の活用

2018年度同様、2019年度も8割以上が「はい」と回答した。(図2-4)

図2-4 専門教育の活用

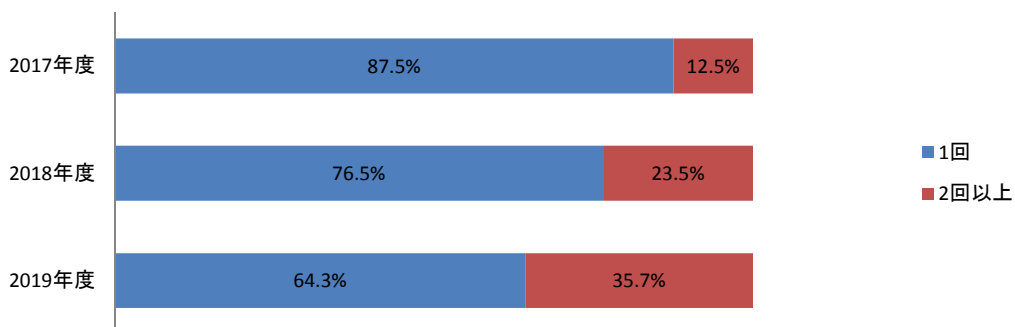


(3) 転職経験「あり」回答者への設問

ア 転職回数

2018年度は2割程度であったが、2019年度は4割弱の回答者が2回以上の転職を経験していた。(図2-5)

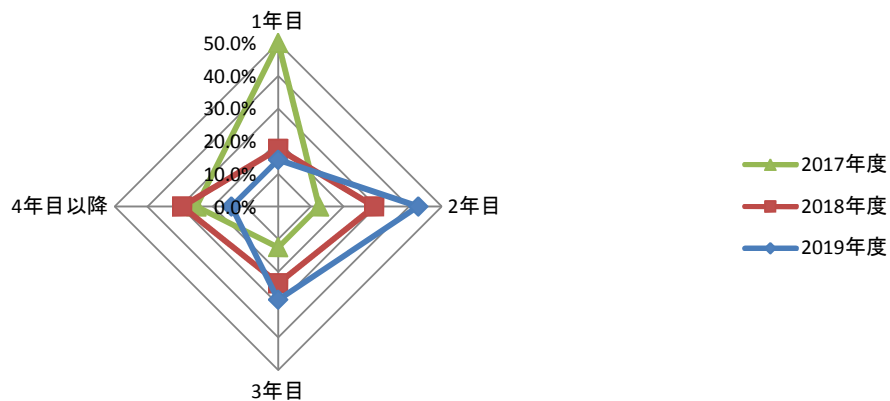
図2-5 転職回数



イ 初めての就職先を離職した時期

2018年度は分散していたが、2019年度は2年目の離職率が高い。(図2-6)

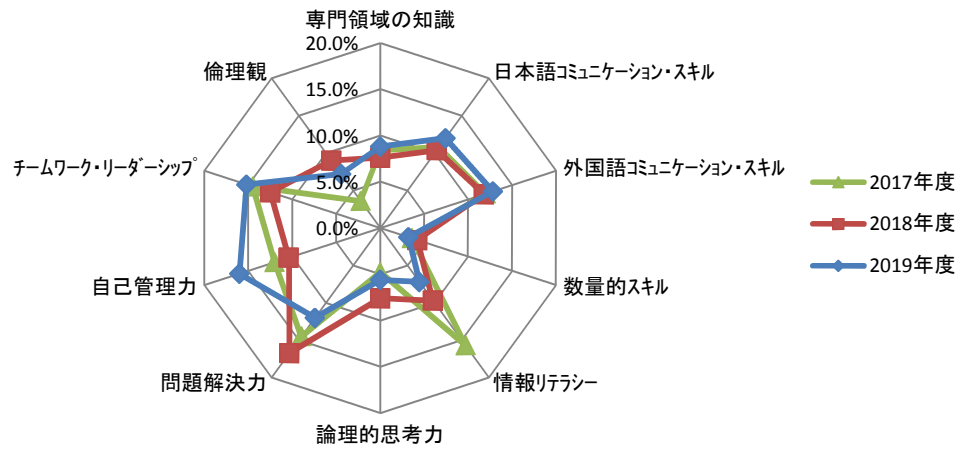
図2-6 離職の時期



4 就業力を向上させる取組み

2019年度は、「自己管理能力」、「チームワーク・リーダーシップ」などの社会人基礎力を身につけることが、就業力を向上させると考える卒業生が多い。(図3)

図3 就業力を向上させる取組み



5 総括

- ・回答者の多くは東京都又は千葉県企業に就業しており、業種は多岐に渡る。
- ・回答者の4割強が転職を経験している。
- ・転職経験者は、4割弱が2回以上の転職を経験しており、離職のタイミングは2年目が多くみられた。
- ・求人情報は、就職情報サイト等外部の媒体を活用して収集する傾向がみられた。
- ・卒業生の多くが大学で学んだ専門教育及び教養教育が就職後に活かされていると感じている。
- ・社会人基礎力を身につけることが、就業力を向上させると考える卒業生が多い。

6 添付資料

明海大学卒業生への就職に関するアンケート調査集計結果 (2019年度)

明海大学卒業生への就職に関するアンケート調査集計結果（2019年度）

1 発送対象等

2015年度卒業生のうち就職者全員（入社3年後の状況把握を考慮）

対象者数：639名（留学生を除く）

2 発送数・回収状況等

発送数 a	639
住所不明 b	58
回収数 c	33
回収率 c/(a-b)	5.7%

3 現在の就業状況

回答があった33名全員が就職している。

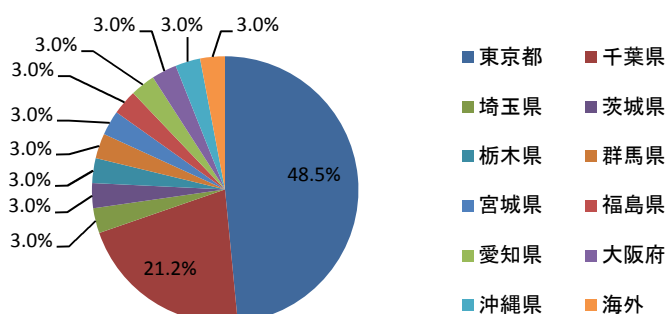
I 基礎項目 現在の就業状況

※ 以下、各項目の割合については、四捨五入で計算し表記していることから、合計値が100%にならない場合がある。

1 事業所等の所在地

最も分布が多かったのは「東京都」の16件（48.5%）、次いで本学所在地である「千葉県」の7件（21.2%）となり、合わせると7割弱が東京都又は千葉県で就業している。

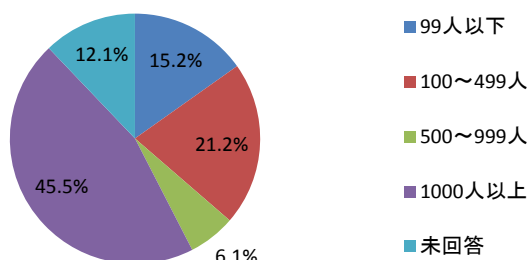
都道府県	回答数
東京都	16
千葉県	7
埼玉県	1
茨城県	1
栃木県	1
群馬県	1
宮城県	1
福島県	1
愛知県	1
大阪府	1
沖縄県	1
海外	1
合計	33



2 従業員規模

最も分布が多かったのは「1000人以上」の15件（45.5%）であった。従業員数が最も少なかったのは、4人（東京都／不動産業、物品賃貸業）で、最も多かったのは、44,800人（愛知県／宿泊業、飲食サービス業）であった。

従業員数	回答数
99人以下	5
100～499人	7
500～999人	2
1,000人以上	15
未回答	4
合計	33

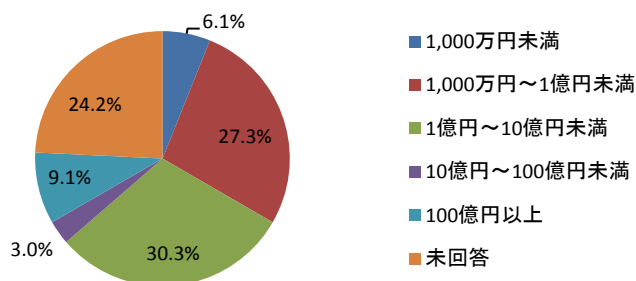


3 資本金

最も分布が多かったのは、「1億円～10億円未満」の10件（30.3%）、次いで「1,000万円～1億円未満」の9件（27.3%）であった。

資本金の最小額は50万円（東京都／不動産業、物品賃貸業）、最大額は250億円（東京都／運輸業、郵便業）であった。

資本金	回答数
1,000万円未満	2
1,000万円～1億円未満	9
1億円～10億円未満	10
10億円～100億円未満	1
100億円以上	3
未回答	8
合計	33



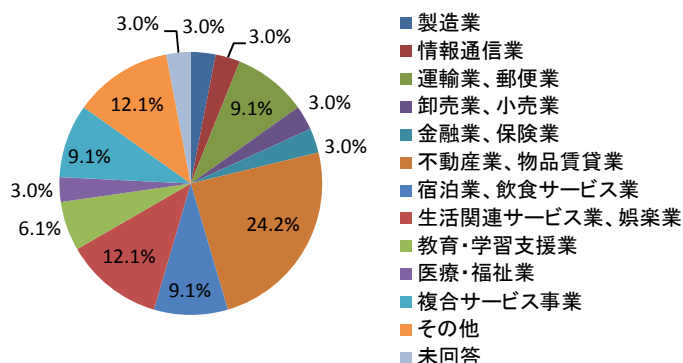
4 業種

現在就業している企業等の業種については、「その他」の回答を除き11業種に分布が見られた。

最も多かったのは、「不動産業、物品賃貸業」の8件（24.2%）、次いで「生活関連サービス業、娯楽業」の4件（12.1%）であった。

一方、次の6業種「農業・林業」・「漁業」・「鉱業・採石業・砂利採取業」・「建設業」・「電気、ガス、熱供給、水道業」・「学術研究、専門・技術サービス業」については、該当がなかった。

業種	回答数
製造業	1
情報通信業	1
運輸業、郵便業	3
卸売業・小売業	1
金融業、保険業	1
不動産業・物品賃貸業	8
宿泊業、飲食サービス業	3
生活関連サービス業、娯楽業	4
教育・学習支援業	2
医療・福祉業	1
複合サービス事業	3
その他	4
未回答	1
合計	33

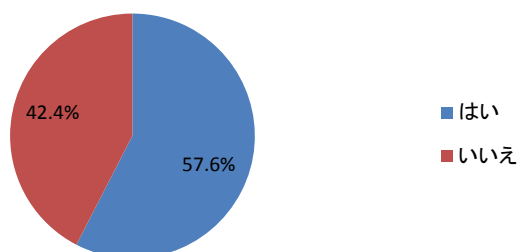


II 調査項目

1 現在の企業（団体等）に、卒業後最初に就職した。

卒業後最初に就職した企業（団体等）に継続して勤務している者は19件（57.6%）であった。一方、転職を経験している者は14件（42.4%）となり、就業中の者のうち4割が転職経験者であることがわかった。

回答	回答数
はい	19
いいえ	14
合計	33

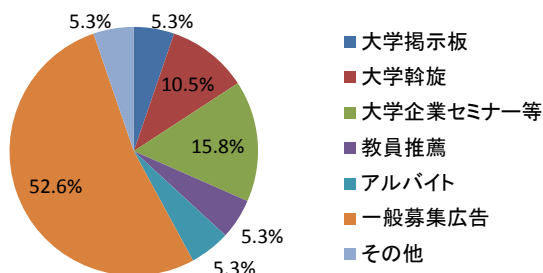


「はい」と回答された方（算出母数 19）：

(1) この企業を選んだきっかけは何ですか。

最も多かったのが「一般募集広告」の 10 件（52.6%）であり、学生が企業情報の主な情報源として就職情報サイト等外部の媒体を活用していることがわかる。その他、「大学掲示板」「大学幹旋」「大学企業セミナー等」の合計が 6 件あり、学内における企業と学生とのマッチングの効果が出ていることがわかる。

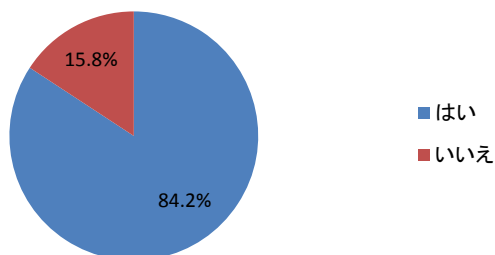
企業を選んだきっかけ	回答数
大学掲示板	1
大学幹旋	2
大学企業セミナー等	3
教員推薦	1
アルバイト	1
一般募集広告	10
その他	1
合計	19



(2) この企業は大学での教養教育が活かしていますか。

大学での教養教育を活かしていると回答した者が 16 件（84.2%）と、活かしていないと回答する者 3 件（15.8%）を大きく上回った。

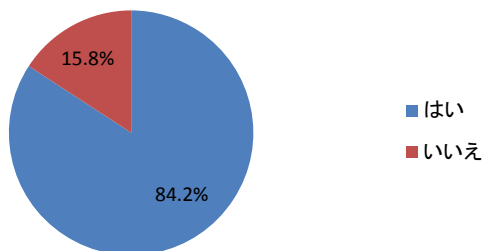
回答	回答数
はい	16
いいえ	3
合計	19



(3) この企業は大学での専門教育が活かしていますか。

大学での専門教育を活かしていると回答した者が 16 件（84.2%）と、活かしていないと回答する者 3 件（15.8%）を大きく上回った。

回答	回答数
はい	16
いいえ	3
合計	19

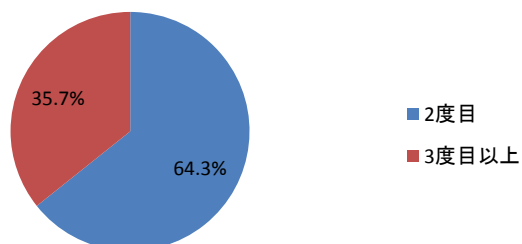


「いいえ」と回答された方（算出母数 14）：

(1) 現在の企業は何度目の就職になりますか。

転職者のうち「2 度目」の就職と回答した者が 9 件（64.3%）と、「3 度目以上」と回答する者 5 件（35.7%）を上回った。

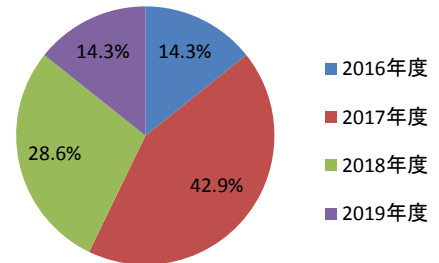
回答	回答数
2 度目	9
3 度目以上	5
合計	14



(2) 最初に就職した企業は何年何月に退職しましたか。

転職者のうち、「2017年度（入社2年目）」に退職した者が6件（42.9%）と最も多く、次いで「2018年度（入社3年目）」が4件（28.6%）であった。就業者（母数33）に占める3年以内の転職者の割合は、36.4%である。

退職年度	回答数	備考（退職月内訳）
2016年度（初年度）	2	2016年 8月 2名
2017年度（2年目）	6	2017年 4月 1名 2017年 5月 2名 2017年 8月 1名 2018年 1月 1名 2018年 3月 1名
2018年度（3年目）	4	2018年 9月 1名 2018年 10月 1名 2018年 12月 1名 2019年 3月 1名
2019年度（4年目）	2	2019年 4月 1名 2020年 1月 1名
合計	14	



2 明海大学卒業生の就業力を向上させる取り組みとして必要と思われるものを選んでください。（複数回答可）

就業力向上のための取り組みとして必要なものに「自己管理能力」を挙げた者が20件（回答者の60.6%）と最も多く、次いで「チームワーク・リーダーシップ」の19件（回答者の57.6%）であった。

なお、その他の回答として「時事に敏感になる力」・「大学の知名度」・「（不動産）仲介に行くのか買取に行くのかディベロッパーに行くのか等コースを明確にすべき」・「専門領域以外の知識の修得」があった。

回答	回答数
専門領域の知識	11
日本語コミュニケーション・スキル	15
外国語コミュニケーション・スキル	16
数量的スキル	4
情報リテラシー	9
論理的思考力	7
問題解決力	15
自己管理能力	20
チームワーク・リーダーシップ	19
倫理観	9

